



学校運営で最も重要な柱 **子どもの命を守りきる**

- ・子どもが自らの命を断つこと、また、学校事故等により子どもの命が失われることは絶対にあってはならない
- ・いじめや薬物乱用をはじめとする問題行動、虐待、不登校、子どもの困りについて、ささいな兆候や懸念であっても校内で報告・相談をし、情報の共有と行動の一元化を徹底する
- ・「見逃しのない観察」「手遅れにない対応」「心の通った指導」を迅速かつ組織的に行う
- ・けがや体調不良は本人への丁寧な対応と保護者へ確実に早期の伝達 何よりも優先！
- ・防災教育を展開する中で、子どもに自然災害に関する知識を身に付けさせるとともに、危険に際して自らの命を守り抜くために主体的に行動する態度を育成する

【重視する視点】

- 主体的・対話的で深い学びを重視した授業を通して、学びの質を高める
- 日々の授業と家庭学習との連動を通して、自学自習の習慣化を図る
- 自他を大切にし、「公共の精神」に基づく態度を育む

【具体的な取組】

知「自ら学ぶ子」確かな学力の育成

- (1) 社会とのつながり・接続を実感できる授業への改善
 - 学びの約束やルールの明確化（大將軍授業スタンダードの活用）
 - カリキュラム・マネジメントの視点で教科横断的に資質・能力を培う
 - 学校評価や各テストの結果集計・分析・手立ての構築と共通理解
 - * テスト類の返却は実施1週間以内
 - * 全国学力テストやジョイントプログラム等の結果の活用
- (2) 基礎的・基本的な知識・技能の習得と言語活動の充実
 - 調べ学習、観察・実験、レポートの作成等の活動を適宜取り入れる。
 - 学習課題（めあて・目標）に応じた「まとめ」と「振り返り」の徹底
 - 学校図書館を「学習情報センター」として位置づける
- (3) 探求活動を通した主体的・対話的で深い学びの実現
 - 自ら課題や疑問点を設定し、調べ、解決しようとする過程を大切にしたい探究活動の推進

徳「やさしい子」豊かな心の育成

- (1) 道徳教育の充実
 - 道徳教育推進月間を位置づけ、授業参観やホームページ、学校だより等を通して、本校の道徳教育を発信する
- (2) 規範意識の育成
 - あいさつの励行
 - 問題行動に対して「社会で許されない行為は学校においても許されない」という毅然とした姿勢で指導を徹底する
 - 積極的に家庭に協力を求める

○子ども同士が正義感をもって指摘し合える風土を醸成する

○情報モラル学習を通して「心を磨く領域」と「知恵を磨く領域」の指導を行う

体「元気な子」健やかな体の育成

(1) 基本的生活習慣の確立

○家庭との連携，生活チェック表の活用

(2) 保健教育の充実

○新型コロナウイルス感染症をはじめとする病気やけがに対する原因や予防策を正しく理解し，自ら判断して行動できるような指導を行う

(3) 飲酒・喫煙・薬物に関する指導

(4) 安全教育の充実

(5) 食に関する指導の推進

生きる力「つながる子」人とつながる力の育成

(1) 学校運営協議会「社会に開かれた教育課程」の実現をめざす

(2) カリキュラム・マネジメントの視点で外部と連携する教育活動を計画する

(3) 学校支援ボランティアの依頼・連携（教職員の積極的なかわり）